

道防連だより

NO.116

[発行] 公益財団法人北海道防犯協会連合会／北海道風俗環境浄化協会
〒 060-8520 札幌市中央区北 2 条西 7 丁目 北海道警察本部内
TEL 011-232-1565 FAX 011-232-8680

令和 4 年度第 2 回通常理事会 開催

3 月 9 日、理事長を始め 10 名の理事、3 名の監事が出席して開催し、令和 5 年度の事業計画、収支予算等が議決され、代表理事等の職務執行状況等の報告を行いました。

令和 5 年度事業計画（抜粋）

第 1 公益目的事業

1 地域安全活動の推進

(1) 犯罪の起きにくい社会づくりの推進

ア 地域安全活動の実施

「全国地域安全運動」及び「歳末地域安全運動」を行う。

イ 広報啓発活動用資材の作成配付等

機関誌、ホームページを活用して広報する。

(2) 協働連携事業

ア 方面、地区防犯協会等の活動に対する協力支援の実施

地区防犯協会や道、道警察等と連携して実施する事業に要する経費に対して支援する。

イ 防犯ボランティア団体等の活動の促進

防犯ボランティアリーダー養成講座を実施し、学生ボランティア育成事業を支援する。

ウ 少年の非行防止と健全育成活動の推進

少年の居場所づくり事業を継続支援し、少年の非行防止と健全育成を図る。

エ 薬物乱用防止活動への参画

薬物乱用防止広報強調月間など関係機関と連携して広報活動等を推進する。

(3) 防犯功労者等表彰事業

多年にわたり防犯活動に尽力した個人・団体に対し、警察本部長と理事長の連名表彰を行う。

2 自転車防犯登録事業

自転車防犯登録所と連携して的確な自転車防犯登録事業を推進するとともに盗難防止を図る。

3 防犯モデルマンション認証事業

建築業界への働きかけなどにより、防犯性の高い「防犯モデルマンション」の普及促進を図る。

第 2 北海道公安委員会からの受託事業

1 風俗営業管理者講習の実施

2 風俗営業の新規許可申請等に伴う現地調査の実施

「春の地域安全運動」の見直しについて

これまで道警察が実施する春の地域安全運動とともに実施してきましたが、道警察においては、本年から実施しないこととなったため、地域の実情を踏まえて、効果が期待できる機会に実施するようにしてください。

北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり推進会議が開催

2 月 10 日、鈴木北海道知事、鈴木警察本部長など 39 名が出席して、全道推進会議が開催されました。五十嵐理事長が進行を務め、山崎専務理事が児童の専門部会の取組状況を報告し、犯罪のない安全で安心な地域づくり推進方策の改定が承認されました。

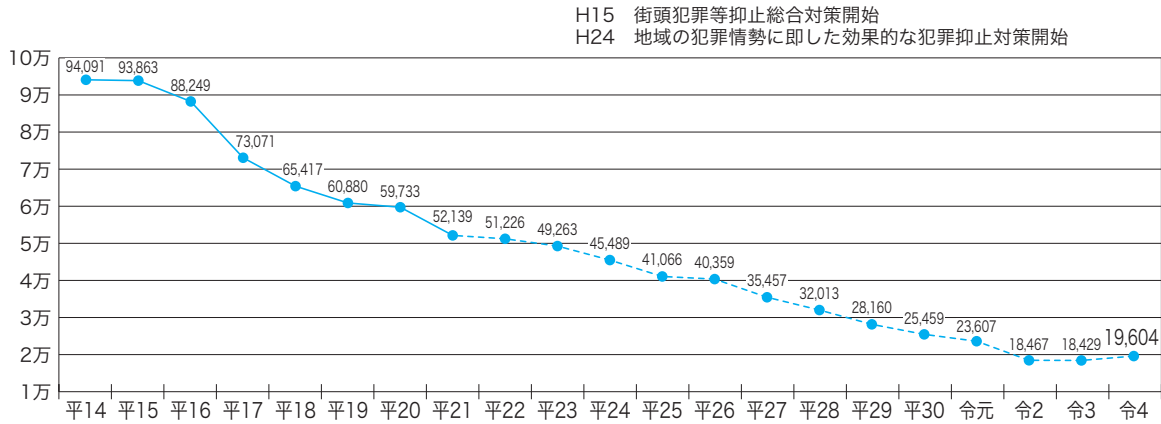


令和4年の「刑法犯認知状況」

提供:北海道警察

昨年の道内における刑法犯認知件数は19,604件で、令和3年と比較して1,175件(6.4%)増加しました。

【刑法犯認知件数の推移】



北海道警察取組重点のうち、子供・女性対象犯罪については、子供被害犯罪が減少しましたが、女性被害犯罪が増加しました。また、特殊詐欺については、認知件数が308件(前年比+168件)、被害金額が12億3,970万6,805円(前年比+6億4,363万3,300円)といずれも大きく増加しました。

【子供・女性対象犯罪】

(件)

	合計	子供被害犯罪	女性被害犯罪
令和4年	358	190	168
令和3年	369	211	158
増減	-11	-21	10

【特殊詐欺(合計及び主要4手口)】

(件・円)

	合計		オレオレ詐欺		架空料金請求詐欺		還付金詐欺		キャッシュカード詐欺盗	
令和4年	308	1,239,706,805	96	324,560,000	92	716,710,800	56	64,526,673	47	99,118,492
令和3年	140	596,073,505	12	31,189,743	45	441,089,610	41	37,740,706	10	14,226,000
増減	168	643,633,300	84	293,370,257	47	275,621,190	15	26,785,967	37	84,892,492

令和4年の「風俗事犯取締概況」

提供:北海道警察

昨年の風俗事犯の検挙は159件126人(前年比-10件-38人)で、このうち、薄野地区における検挙は61件と全体の約38%を占め、違反別では、無許可風俗営業事件2件、迷惑性の高い客引き事犯24件等でした。

また、摘発による風俗営業の営業停止処分や時間外営業などでの指示処分等として、66件の行政処分を行いました。

【主な摘発事件】

- 札幌市内の店舗型性風俗特殊営業を営むことを禁止している区域内においてヘルス営業を行っていた業者等を風営適正化法違反で検挙(10件6名)
- 風俗営業の許可を取得している社交飲食店において、18歳未満の者を接客従業員として雇用していた業者等を風営適正化法違反で検挙

令和4年の「少年非行概要」

提供:北海道警察

【非行少年等の検挙・補導状況】

(人)

	総数	刑法犯	特別法犯	ぐ犯少年	不良行為少年
令和4年	1,054	879	175	0	10,070
令和3年	986	823	162	1	9,217
増減	68	56	13	-1	853

昨年の道内における非行少年の総数は1,054人（前年比+68人）で、このうち、刑法犯で検挙補導した少年は879人（前年比+56人）と、ともに増加しました。

【刑法犯罪種別検挙・補導状況】

(人)

	総数	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他
令和4年	879	17	175	500	14	25	148
令和3年	823	10	156	465	22	43	127
増減	56	7	19	35	-8	-18	21

【刑法犯学職別検挙・補導状況】

(人)

	総数	未就学	小学生	中学生	高校生	他学生	有職少年	無職少年
令和4年	879	0	180	184	251	41	151	72
令和3年	823	0	193	198	225	44	120	43
増減	56	0	-13	-14	26	-3	31	29

【不良行為少年学職別補導状況】

(人)

	総数	未就学	小学生	中学生	高校生	他学生	有職少年	無職少年
令和4年	10,070	0	187	1,326	4,404	1,589	1,781	783
令和3年	9,217	1	203	1,134	3,975	1,487	1,748	669
増減	853	-1	-16	192	429	102	33	114

不良行為少年を学職別で見ると高校生が4,404人（前年比+429人）で、全体の約44%を占め、次いで有職少年が1,781人（前年比+33人）で、全体の約18%を占めました。

活動期における防犯活動について

春の活動期に向かうこの時期に、地域の実情に合わせた効果的な防犯活動を実施しましょう。

道路事情が良くなり、自転車の利用が増えるこの時期をとらえて、配付された防犯診断カードを活用して駐輪場などで自転車防犯診断を実施し、「ツーロック」と「防犯登録」の促進を図りましょう。自転車盗難被害は、昨年の刑法犯認知件数の増加要因の一つであり、また、特殊詐欺被害は平成23年以降、最悪の被害件数で、女性・子供の犯罪被害も後を絶ちません。これらの実情をとらえて、これまで実施してきた春の地域安全運動の効果的な取組は継続して実施しましょう。

令和5年全国地域安全運動に向けた「ポスター」「標語」「青パト写真」を募集中！

～今年の課題～

- ポスター・幅広い世代が参加する防犯ボランティアの活動
- 標語（キャッチコピー）・暴力団への加入阻止
- 青パト活動の写真（青色回転灯装備車が活動する写真）

6月9日締切り、詳細は道防連又は最寄りの防犯協会にお問い合わせください。

住宅等を対象とした強盗事件に対する防犯対策について

最近、宅配業者を装い又は窓ガラスを破壊して住宅に押し入る、巧妙で悪質な手口による強盗事件や訪問を装い在宅を確認する不審電話（アポ電）が連続して発生しています。

みなさんは、次のことに配慮して被害の未然防止対策を図るとともに、地域のみなさんへの広報啓発に努めてください。

- ・在宅時でも施錠をするなど戸締まりを徹底しましょう。
- ・訪問者に対しては不用意にドアを開けず、まずドアスコープやインターフォンなどで確認しましょう。
- ・外出先から帰宅した際は、背後や周囲に人がいないことをよく確認しましょう。
- ・電話等で在宅状況や家族の状況、資産状況を聞かれても答えないようにしましょう。
- ・自宅に必要以上の現金を置かないようにしましょう。
- ・防犯性能の高い建物部品（錠、ドア、窓ガラス、防犯フィルム、シャッターなど）を活用しましょう。
- ・防犯設備機器（防犯カメラシステム、センサーライト、モニター録画機能付きインターフォンなど）を活用しましょう。
- ・不審を感じた場合には、ためらうことなく110番又は#9110番に通報しましょう。

月形防犯協会に「青パト」が納車！

（一財）日本宝くじ協会の助成事業として当連合会に寄贈された、令和4年度『青色防犯パトロール車「宝くじ号」』が岩見沢地区防犯協会の月形防犯協会（津坂佳史会長）に贈与納車となりました。

「宝くじ号」の贈与は、平成17年から18台目になります。

青パト「宝くじ号」は、全国防犯協会連合会から道防連に無償譲渡され、道防連が所有者に、市町村防犯協会など地域の防犯活動を行う団体が使用者になります。市町村防犯協会などは、所在証明を受けられることで使用者として登録され、「宝くじ号」の運用、維持管理を行います。

青パト「宝くじ号」の使用者として運用を希望する防犯団体は、道防連に連絡してください。



ソフトバンク「つながる募金」に参加

道防連の活動資金を充実させて防犯活動の活性化を図ることを目的に、ソフトバンク（株）が運用する「つながる募金」に参加して、広く寄附を募ることとしました。

この制度は、ソフトバンクから非営利活動団体に提供される、携帯電話を利用して寄附金を募ることができるサービスです。

「つながる募金」の詳しい内容は、ホームページをご覧ください、寄附のご協力をお願いいたします。



「つながる募金」
HP

《賛助会員の募集》年会費1口1万円 税制優遇措置の対象

犯罪のない安全で安心な北海道の実現に寄与する当連合会の事業に賛同し、ご協力いただける企業・団体及び個人の方々は、賛助会員として参加いただきますようお願いいたします。

また、企業による防犯CSR活動にも積極的に取り組んでいただきますようお願いいたします。賛助会員に関する詳しい内容は、当連合会のホームページをご覧ください。



「北海道防犯協会連合会」HP